

都市再生整備計画 事後評価シート  
つくばエクスプレス沿線地区

平成29年2月

千葉県流山市

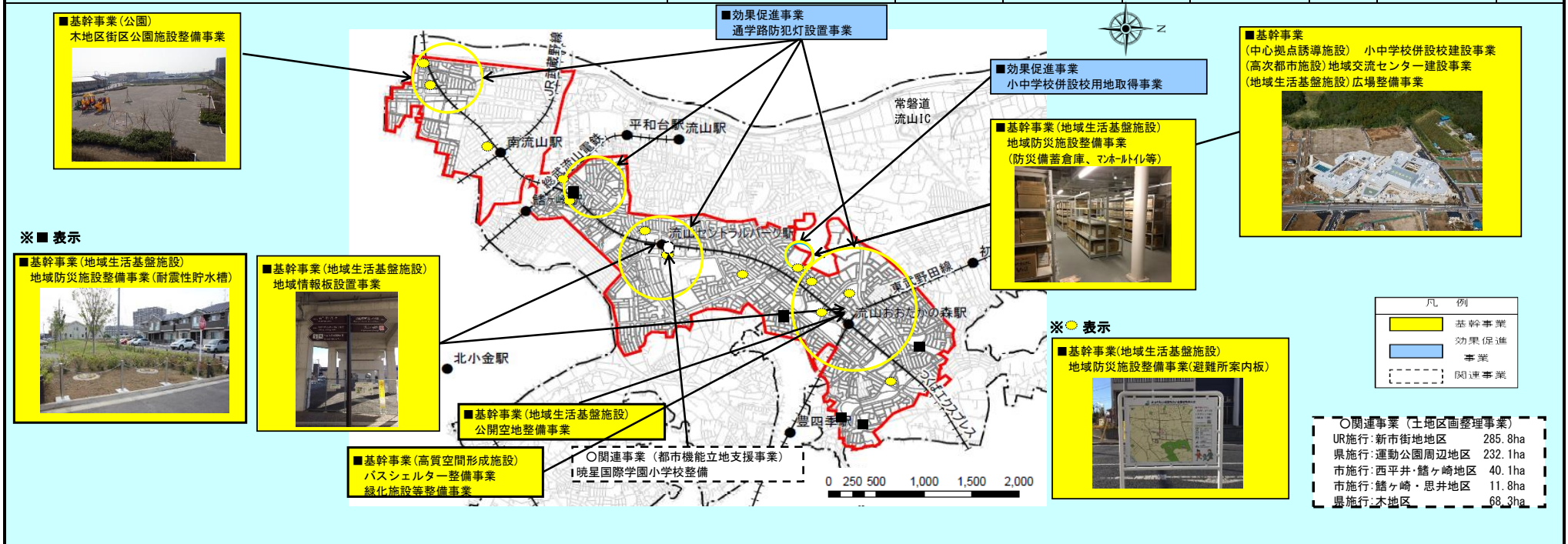
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	流山市		地区名	つくばエクスプレス沿線地区(都市再構築戦略事業)			面積	774.8ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	3,496百万円	国費率	50%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	木地区街区公園整備事業、地域情報板整備事業、バスシェルター整備事業、地域防災施設整備事業(防災備蓄倉庫、耐震性貯水槽、情報通信施設、避難場所案内板、防災井戸、マンホールトイレ)、広場整備事業、地域交流センター建設事業、小中学校併設校建設事業									
			提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	公開空地整備事業、緑化施設等整備事業		両者とも区画整理の進捗状況に合わせて、事業を進捗できるようにしたため。		指標2に関係するが、影響は少ないと思われる。					
			提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	市民の安心安全に関する満足度	%	46.6	平成24年度	59.2	平成28年度	56.3	△	あり なし ●	防災施設が増えたことにより、満足度は向上したが、目標値には届かなかった。	平成29年5月	
	指標2	住み続けたいと思う人の割合	%	40.7	平成24年度	52.9	平成28年度	44.3	△	あり なし ●	施設整備により割合は向上したが、目標値達成には至らなかった。おたかの森駅西口の事業が未了であり、街自体が完成に至っていないため、数値の伸びが低いと考えられる。	平成29年5月	
	指標3								あり なし				
	指標4								あり なし				
	指標5								あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	利用している駅および駅周辺の整備や利便性について	%	47.3	平成24年度			52.5			つくばエクスプレス沿線地区の整備がされたことにより、従前値より高くなった。おたかの森駅西口の事業が未了であり、街自体が完成に至っていないため、フォローアップした際の数値は伸びると思われる。	平成29年5月	
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	小中学校併設校に地域交流センターが併設されたことで、人の交流が活発になった。												
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	タウンミーティング、公聴会、パブリックコメント				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			○	小中学校併設校に関するタウンミーティングや公聴会、パブリックコメントを行った。「併設校だより」を発行して、市民に情報提供を行った。			
	持続的なまちづくり体制の構築	景観まちづくりアドバイザーによる継続的な開発審査				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			○	小中学校併設校の設計計画については、景観に配慮した建物となる様、検討を行った。流山おたかの森駅西口ロータリー整備計画については、市野谷の森へのゲートとしての広場となる様、検討を行った。			

## 様式2-2 地区の概要

つくばエクスプレス沿線地区(千葉県流山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 安心安全を柱としたいつまでも住み続けたい魅力あるまちづくり 小目標①: 人口増加に対応した安心安全なまちづくり 小目標②: 暮らしやコミュニティに配慮した快適で魅力あるまちづくり	市民の安心安全に関する満足度	単位: %	46.6	H24年度	59.2	H28年度	56.3	H27年度
	住み続けたいと思う人の割合	単位: %	40.7	H24年度	52.9	H28年度	44.3	H27年度
	利用している駅および駅周辺の整備や利便性について	単位: %	47.3	H24年度	—	—	52.5	H27年度



まちの課題の変化	課題1: つくばエクスプレス沿線地区の急激な人口増加により、新たな住民が多く、住民同士の連携を図れるコミュニティ施設が不足しているため、コミュニティ施設の整備⇒住民同士が交流できる場所の提供 課題2: 東日本大震災を契機に地域の防災機能が不足していることが判明したため、防災基盤の整備⇒防災機能の向上 課題3: 共働き子育て夫婦 (DEWKS) の増加に伴い、児童の増加が予測されるため、小中併設校の整備⇒小中併設にしたことにより、小学校と中学校の異なる児童生徒数のピークを融通
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	次期計画として、南流山駅周辺地区、流山おおたかの森駅周辺地区に分ける。 南流山駅周辺地区は、人口増加に対応した防災施設、コミュニティ施設を整備することで安心安全で快適な市街地整備を推進する。 流山おおたかの森駅周辺地区は、人口増加に対応した歩行支援施設整備により交通結節点の改善を推進し、地域防災施設や緑化施設を整備することで安心安全で快適な市街地整備を推進する。